



2022年度 活動計画

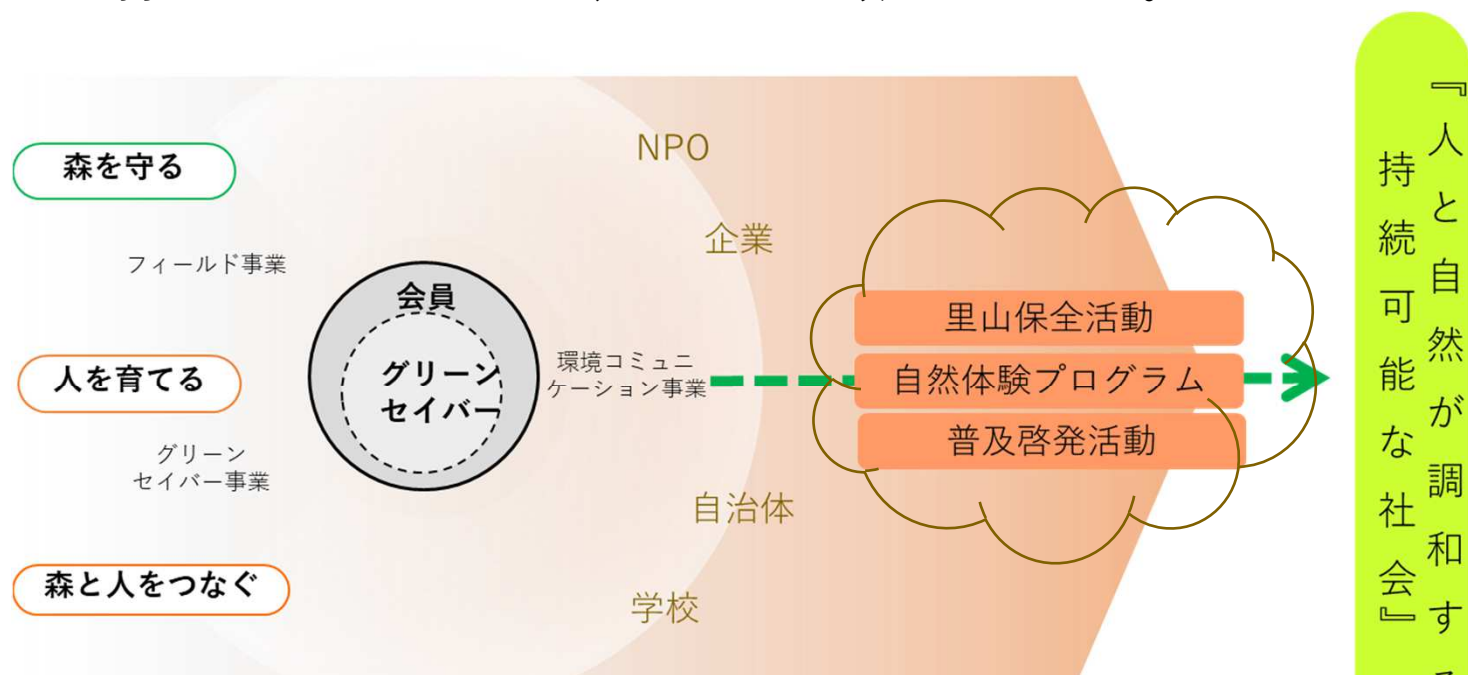
樹木・環境 ネットワーク協会





## 持続可能な活動に向かって

2021年度の基本方針では、「あらためて、どんな状況においても、協会の目指す社会を実現するために、活動を続けていかなければならない」とお伝えしました。そして、地域に根差した活動への展開の重要性も強調しました。こうした活動を続けていくためには、それを担う人とともに進めていかねばなりません。しかし、発足以来、**25年**余り経過した私たちの活動には、持続していくことの難しさにも直面していることも事実です。これまでの活動の成果、経験、蓄積してきたものを、次の担い手に引継ぎしていくことが必要だと認識しています。どのようにそれを実現していくのか。人材育成だけでなく、これまでの活動を伝え、さらに発展させて広げていく持続可能な活動の在り方を模索し、進めて行きたいと考えています。引き続き、会員みなさんにも積極的に参加していただき、あるいは関わりを持っていただきますよう、よろしくお願いいたします。





森を守る



## 森林保全活動

SDGsの普及とカーボンオフセットへの関心が高まるにつれて、森林保全活動の取組も注目されるようになってきたと感じます。CO2削減や生物多様性の保全のみならず、様々な社会課題を抱える中で、私たち協会としては、森林保全のもつ、地域づくり、コミュニティづくりなどの新しい機能や価値を発信していきたいと考えています。現在、全国で行われている保全活動は14か所。22年度はこの14箇所です。

こうした活動をどう継続し、地域に広げていくかという課題にも直面している中で、新たな体制で新たな形を模索しながらスタートする取組もあります。

### 2022年度 フィールド

- 01.上野動物園 緑化ボランティア
- 02.町田 三輪里山
- 03.多摩動物公園雑木林 TAMAZO
- 04.武蔵野の森から学ぼう
- 05.千葉おぐらの森
- 06.嵐山ふれあいの森
- 07.二宮蜜柑倶楽部
- 08.八ヶ岳ワーキング
- 09.交野・森フィールド
- 10.レッツ久宝探検隊
- 11.御杖村フォールド
- 12.和歌山ワーキング
- 13.町田養運寺ふるさとの森
- 14.奄山ふれあいの森

## 持続可能なフィールド活動に向けて

### 里山プランニング講座の開催

これまでは、常緑樹を伐採し、落葉広葉樹を残して明るい森にしていこうと作業を続けてきて、各フィールドで大きな成果を生み出してきました。一方で、この森を何を指し、どう作り上げていくかという大きなビジョンが十分であったかという反省もありました。また、保全活動を担う人材の継続にも課題が見えてきました。

そうした課題の解決の糸口の一つとして、里山のビジョンを体系的に、また多くの人に関わることでそれを共有しながら作り上げていこうという講座が開催されます。地域ごとに様々な答えがあるであろう、この大きなミッションに取り組んでいきます。

### 地域に開かれた里山活動に向けて

地域の人たちとともに、あるいは地域を巻き込んだ里山保全活動は、当協会の課題でした。これから、里山をさまざまな形で楽しみながら活用するという視点で、地域を巻き込み、また、聚のイベントや自然体験などのさまざまな活動を巻き込んだ活動に展開すべく、模索しながら進めていきます。

## 人材育成の場の広がり

フィールド活動の人材育成を目指し、技術的な講座としてスタートした里山林塾も6年目を迎えました。卒業生のなかから、次の里山林塾の運営や企画を担うチームが誕生し、今年度からその運営に携わっていくことになります。里山での学びに加えて、里山を楽しむ視点を大切に、里山の新たな価値を引き出されることが期待されます。

## 協働活動の展開

これまでも企業だけでなく、他団体との協力関係からフィールドの活用はありましたが、今後ますます協働の重要性がでてきます。町田市では市内のみどり関係者との連携がはじまろうとしているなど、今後のパートナーシップの多様性、ネットワークの構築を広げてまいります。



## グリーンセイバー企画関連

### GS企画

グリーンセイバーが運営・実施する一般向けの観察会や講座を行うGS企画。

2022年は、コロナの感染対策をしたうえで、新GSのみなさんとともに、自然との触れ合いの場づくりを広めていきます。

- 1) 子どもワクワクプロジェクト  
未就学～小学生（全学年）を対象とした自然体験プログラム
- 2) 自然に親しむ講座  
深く自然を学ぶことができる講座的プログラムの実施
- 3) これからはじめる自然観察  
自然観察をはじめたい、はじめたばかりの方を対象とした自然観察プログラム

### GS研修・勉強会

ひとりー木やフェノロジー研究会、育苗勉強会等グリーンセイバー独自のプログラムも継続して実施します。ほかにも「やってみたい・行ってみたい」「こんなことを勉強したい」をもとに研修や勉強会のアイデアが次々と出ました。お互いに教えあって学ぶ場がGS研修や勉強会。年度途中でも、思いついたら互いに声がけしてできる気軽な機会であり、仲間づくりの場にもなったらよいと考えています。

#### <実施予定の研修ラインナップ>

フェノロジー・育苗勉強会  
クラフトグループ・小枝のひみつ  
ひとりー木・富山の自然  
愛知の自然・東北の自然 等

## グリーンセイバー資格検定

### グリーンセイバー資格検定

#### ネイチャー&カルチャー試験は5会場に

2022年8月28日に、3年目のグリーンセイバーネイチャー&カルチャーの検定試験を実施します。2022年度は東京、大阪、岡山、仙台、そして札幌の5会場での実施を予定しています。ガイダンスやセミナーはオンライン講座として実施し、広く受けることが出来る運営をしています。

2020年2月に発行されたテキストは、引き続きYahoo!ショッピング「TAMATEBAKO」のほか、Amazonからも購入可能です。今後、さらに受検とテキストをPRしていきます。

### グリーンセイバーナビ

2020年度に「グリーンセイバーナビ」のテキスト作成を再開し、2021年度までにだいぶ形になってきました。人と自然の共生のあり方に興味を持ってもらうための入り口として、人と自然の身近な30個の話題を集めた内容になっています。

2022年度の前半には完成と公開の予定です。



### グリーンセイバーの腕章

2019年度にグリーンセイバーの腕章の作成に取りかかりましたが、十分な資金源がなかったため、据え置きになっていました。ようやく制作の目途がたちましたので、今年度前半に完成を目指して準備をはじめています。





## 継続的な協働事業の推進

### 法人・企業との協働活動

コロナ禍の2年間は、企業や他の団体との野外での協働活動は、余り実施できませんでした。しかし、森づくりのボランティア活動やCSR活動を希望する企業からの問合せは多く、関心の高さを反映しています。このような思いを森づくりにうまく繋げられるように、フィールド活動とも連携しながら、引き続き、こうした活動を企業や団体の皆さんとともに推進していきます。

### 学校との環境教育

自然に触れる時間は、子どもたちへの心と体の成長に欠かせないものです。各地の小中学校での環境学習の協力とフィールドを活かした体験学習を引き続き提案していきます。

## 自治体・行政との協力事業

### 海の森公園ボランティア活動維持支援委託事業の再開

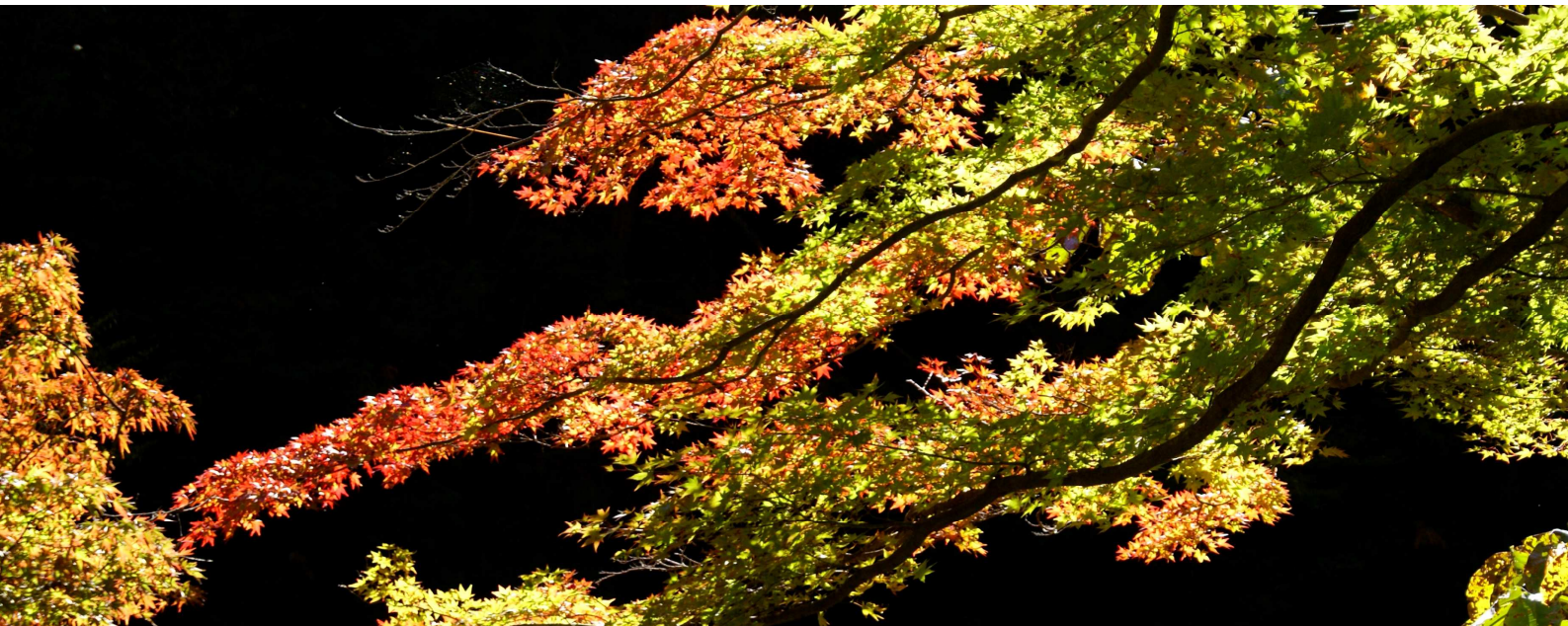
協会では、長年、東京都の海の森事業に関わってきましたが、昨年度はそれに携わることがほとんどできませんでした。今年度は、再びオリンピック後の海の森公園の開園を控えた海の森での公園ボランティア事業に携わることになりました。

新しいボランティアのみなさんへの養成研修と、これまでのボランティアのみなさんとの定例活動を中心に活動を進めています。そのために新年度から新しい体制も整えてきています。



### 自治体との連携

いくつかの自治体の要請により準備をしている事業があり、実現に向けて動いています。木育をベースにした活動や市内のみどりを扱い関係者との連携事業の検討が進められており、当会のネットワークやノウハウを活かして、活動を展開していきたいと考えています。





## ウイズコロナの活動スタイル

### 感染状況に左右されない フレキシブルな活動を推進

コロナ禍も3年目に入り、感染対策を取りながらの活動スタイルもすっかり定着しました。状況に応じて対面とオンラインをフレキシブルに使い分け、他団体との共催イベントや地方の会員も参加しやすい企画を積極的に実施するなど、活動の幅が広がっています。今後も、これらのノウハウを活用して、より多くの方に参加していただけるような、持続可能な活動スタイルを模索していきます。

## 広報・情報共有

### 情報発信の多様化と双方向性

引き続き、ホームページ、聚レター、メルマガ、各種SNSを活用し、それぞれの特性を活かした情報発信、共有を推進します。これらは、事務局から会員への一方的な情報発信ではなく、会員同士の双方向な情報発信ツールとしても活用していただきたいと考えています。メルマガでは、こんな活動を始めたい、仲間を集めたいといった情報を載せることも可能で、必要ならそのためのコーナーを設けるなど、情報が届きやすいスタイルに変更することも考えています。ぜひご活用ください。さらに、Youtube動画やLive配信、オンラインイベント等、多様なメディアを活用し、他団体ともコラボしながら、より多くの方に当協会の活動を知っていただく機会を増やします。

## 新規会員・グリーンセイバーの獲得

### 会員予備軍、フォロワーへの働きかけ

会員ではないけれど、イベントに参加したいのでメルマガに登録して情報をキャッチしたいという方が増えています。会員数には反映されませんが、こういった方々がイベントの報告や感想をSNSにアップしてくれれば、同じような属性の人々に情報が届く可能性があります。こうしたフォロワーに的確な働きかけをおこない、会員、グリーンセイバーの獲得につなげていきたいと考えています。

### 全国のキーパーソンとの交流

オンラインシステムの普及により、全国の会員と交流する機会が増えました。また、検定会場を増やすことを通して、各地でユニークな活動をしているキーパーソンやその関係者とのネットワークも広がりつつあります。引き続き、これらの機会を活用して全国のキーパーソンと交流し、新たな活動につなげたいと考えています。

## 事務局運営

### 会員の声を反映させやすい 運営体制の強化

運営会議、パートナーズボイスプロジェクトをはじめ、活動方針、内容の決定、事務局運営のプロセスを、会員と共有しながら進められる仕組みの定着を図ります。聚レターの編集会議にもグリーンセイバーが参加し、意見交換しながら編集方針や企画の内容を決定。これらの場で決定したことは、HPやSNS等で随時共有していきます。

### テレワーク、クラウドの活用による バックオフィス業務の効率化

テレワーク体制の整備により多様な働き方ができるようになった一方で、情報共有が不十分になりやすいなど、バックオフィス業務の課題も見えてきました。クラウドを活用した効率化を図ると同時に、バックオフィス業務の重要性を見直し、業務内容の改善、情報共有の徹底を図ります。また、在宅勤務、オンラインミーティングをしやすくなった環境を活かし、他拠点をつないだ業務展開や地方との連携強化を図ります。





# 2022年度 予算計画

## ◆収入の部

項目	2021年度実績	2022年度予算	主な活動
会費(計)	¥3,532,000	¥3,712,000	
正会員	3,480,000	3,655,000	個人、家族、法人、団体
準会員	52,000	57,000	賛助、ユース
寄付	¥5,774,890	¥2,650,000	個人、あすのはね、キボウノカケハシ等
事業(計)	¥9,587,738	¥15,175,000	
内訳) グリーンセイバー事業	2,611,892	2,790,000	検定、セミナー、過去問・テキスト販売、GS企画
内訳) フィールド事業	2,051,462	1,980,000	フィールド活動委託、法人・団体等の活動受け入れ
内訳) 環境コミュニケーション事業	4,688,434	4,305,000	法人・団体との協働活動やコーディネート
内訳) 行政委託関連	235,950	6,100,000	行政委託事業、指定管理関連
その他収益	¥1,200,032	¥100,000	事業外助成金、その他
収入の部 合計	¥20,865,660	¥21,637,000	

## ◆支出の部 (固定費を含む)

項目	2021年度実績	2022年度予算	主な活動
総務・管理	¥4,266,758	¥3,500,600	固定費、会員管理、日常業務 等
事業支出(計)	¥11,456,862	¥14,756,000	
内訳) グリーンセイバー事業	2,809,110	2,750,000	検定、セミナー、見直し検討 等
内訳) フィールド事業	3,569,960	2,306,000	フィールド活動推進、法人・団体との活動経費
内訳) 環境コミュニケーション事業	4,847,449	3,700,000	行法人・団体との協働活動やコーディネート
内訳) 行政委託関連	230,343	6,000,000	行政委託事業、指定管理関連
広報	¥3,190,879	¥3,190,000	会報誌・ホームページの作成と運営
法人税・住民税・事業税	¥150,000	¥150,000	法人税、住民税、事業税 等
支出の部 合計	¥19,064,499	¥21,596,600	

## ◆固定費 (支出に含まれる)

人件費・通勤費・福利	7,131,879	9,600,000	事務局、アルバイト人件費、および通勤費
地代家賃	1,953,600	1,953,600	東京事務局ビル
光熱費・リース代 他	1,492,738	1,495,000	水道光熱費、リース代、保険代
社会保険、労災保険	66,073	180,000	
租税公課・法人税・事業税	402,600	800,000	消費税ほか
固定費合計	¥11,046,850	14,028,600	

前期正味財産	¥3,442,547	¥5,243,708
当期正味財産増減額	¥1,801,161	¥40,400
正味財産合計	¥5,243,708	¥5,284,108

- ・海の森公園事業の再出発、その他委託事業により行政委託事業の増加が見込める。
- ・グリーンセイバーの資格検定会場の増加による収入を目指す。
- ・環境コミュニケーション事業の維持を目指し、アフターコロナの活動継続を目指す。
- ・寄付を積極的にPRし、寄付収入の増加を目指す。

【顧問】 山本 光二	樹医
【顧問】 澁澤 寿一	前理事長
【理事長】 清水 善和	駒澤大学総合教育研究部教授
【専務理事】 佐藤（中西） 由美子	グリーンセイバー・マスター
【理事】 小久保 広宣	グリーンセイバー
【理事】 小笠原 幹治	株式会社アテナ 顧問
【理事】 岡本 俊彦	グリーンセイバー・マスター
【理事】 片山 雅男	神戸教育短期大学児童教育学科元教授
【理事】 川端 白人	グリーンセイバー・マスター
【理事】 小林 健人	NPOフュージョン長池 理事
【理事】 小和田 祐子	東京ガス株式会社 サステナビリティ推進部長
【理事】 後藤 洋一	事務局長
【理事】 塚本 秀貴	グリーンセイバー・マスター
【理事】 広瀬 攻	三輪里山フィールドリーダー
【監事】 三尾 隆志	公認会計士
【監事】 吉田 寛	公認会計士 公会計研究所 代表

## 【事務局スタッフ】

専務理事	中西 由美子
理事・事務局長	後藤 洋一
スタッフ（東京）	石崎 庸子
スタッフ（東京）	加藤 武
スタッフ（東京）	陣野 益実
スタッフ（東京）	長谷川 路子
スタッフ（大阪）	山本 睦子







## 団体概要

### 【組織】

団体正式名称 特定非営利活動法人樹木・環境ネットワーク協会  
設立 1995年9月19日  
ホームページ <https://www.shu.or.jp/>



### ○東京事務局

[住所] 〒101-0052 東京都千代田区神田小川町3-6  
日本分譲住宅会館ビル8階南

[Tel] 03-5244-5447 [Fax] 03-5244-5448

[Mail] [info@shu.or.jp](mailto:info@shu.or.jp)

### ○大阪事務局

[住所] 〒576-0033 大阪府交野市私市5丁目17番11号

[Tel] 072-893-1716 [Fax] 072-892-3247

[Mail] [kansai.syu1@nifty.com](mailto:kansai.syu1@nifty.com)

[HP] <http://kansaisyu.o.oo7.jp/index.html>